

経カテーテル ASD・PDA 閉鎖術プロクタリングの手引き

2024 年 3 月

2024 年度にプロクタリング方法が改定されました。多くのデバイスが企業プロクタリングであるのに対し ASD・PDA 閉鎖術は学会プロクタリング方式で行われています。プロクタリングを始めるにあたり学会プロクタリングでは企業プロクタリングとは手順が異なりますので、この手引きを良くよんでから始めてください。

企業プロクタリング：企業がプロクターの選定、プロクタリングの日程調整、費用の負担を全て行います。

学会プロクタリング：受講者側がプロクターを選定（学会からの斡旋も可）、プロクタリングの日程調整、プロクターへの交通・宿泊の手配、費用負担、依頼状の発行など行っていただきます。

プロクターへの謝金は学会から支払います。企業はプロクタリングの立ち合いをしますが、直接的な便宜、費用の負担はしません。

経カテーテル ASD 閉鎖術

1, 経カテーテル ASD 閉鎖術のプロクタリングについて

- 1) ワイヤメッシュ型デバイス（Amplatzer Septal Occluder、Occlutech Figulla Flex II）とワイヤフレーム型デバイス（GORE Cardioform ASD Occluder）の 2 種類のプロクタリングがあります。2 種類両方のプロクタリング受講は必須ではありませんが、該当デバイスのプロクタリングを受講し承認されなければ単独施行ができません。
- 2) 2 種類のプロクタリングはどちらから始めても構いませんが、ワイヤフレーム型デバイスのプロクタリングの際、ワイヤメッシュ型デバイスのプロクタリングがすでに修了していれば、バックアップとしてワイヤメッシュ型デバイスを使用することができますが、修了していなければ使用することはできません。逆も同様です。
- 3) プロクタリング期間は認定期間と同じ 4 月 1 日から 3 年間です。ただし、プロクター施設における補助としての経験は、プロクタリング受講料納付後であれば認定期間前でも可能です。（過去に同手技の助手の経験があれば算定することができます。）
- 4) プロクターと同施設から経食道エコー担当医の派遣を求めることができます。
学会では経食道エコー医の同行を推奨しています。

2, プロクタリング開始の手順

- 1) プロクタリングを希望する場合は、プロクタリング受講申請書を学会事務局に提出し3月31日までに受講料を納付してください。
- 2) 希望するプロクターに連絡を取り、プロクタリング日程の調整、所属施設の規定に則り依頼状の送付をしてください。プロクターの斡旋を希望する方は学会事務局にご連絡ください。日程が決まりましたら、該当企業に連絡しプロクタリング日程を連絡してください。
- 3) 事前にプロクタリング症例の概要や画像などの情報をプロクターと共有し、プロクタリング症例として適当かどうか相談してください。また、経食道エコー医の同行についても相談してください。
- 4) プロクター（経食道エコー担当医）の交通費、宿泊費（必要であれば）は受講施設の負担になります。
- 5) ワイヤメッシュ型デバイスは3例（必ず2社のデバイスを使用すること）、ワイヤフレーム型は2例の実施が必要です。
原則的に各プロクタリングを1日で終了できるように準備してください。
ただし、プロクタリングが修了しない場合は、追加プロクタリングをおこなうことができます。患者様の安全を優先してプロクタリングを行ってください。
- 6) プロクタリングの医療的責任は受講者側となります。またプロクターがプロクタリング不適当と判断した場合、いつでもプロクタリングを中止することができます。
- 7) プロクタリング終了後、プロクターがプロクタリング修了報告書を学会事務局に提出し、教育委員会の審査で承認されるまで単独施行はできませんので、それまで治療の予定をしないようにお願いします。

経カテーテル PDA 閉鎖術

1, 経カテーテル PDA 閉鎖術のプロクタリングについて

- 1) Ampalzter Duct Occluder (ADO)、Amplatzer Duct Occluder II (ADO II) , ピッコロオクルーダーの3種類のデバイスがあります。プロクタリングには2例の経験が必要ですが、そのうち必ずADOを1例以上施行することが必要です。
- 2) プロクタリング期間は4月1日から1年間です（ASDと期間が違いますので間違いないようにお願いします）。ただし、プロクター施設における補助としての経験は、プロクタリング受講料納付後であれば認定期間前でも可能です。（過去に同手技の助手の経験があれば算定することができます。）

2, プロクタリング開始の手順

- 3) プロクタリングを希望する場合は、プロクタリング受講申請書を学会事務局に提出し3月31日までに受講料を納付してください。
- 4) 希望するプロクターに連絡を取り、プロクタリング日程の調整、依頼状の送付をし

てください。プロクターの斡旋を希望する方は学会事務局にご連絡ください。日程が決まりましたら、該当企業に連絡しプロクタリング日程を連絡してください。

- 5) 事前にプロクタリング症例の概要や画像などの情報をプロクターと共有し、プロクタリング症例として適当かどうか相談してください。
- 6) プロクターの交通費、宿泊費（必要であれば）は受講施設の負担になります。
- 7) 原則的に各プロクタリングを1日で終了できるように準備してください。ただし、プロクタリングが修了しない場合は、追加プロクタリングをおこなうことができます。患者様の安全を優先してプロクタリングを行ってください。
- 8) プロクタリングの医療的責任は受講者側となります。またプロクターがプロクタリング不相当と判断した場合、いつでもプロクタリングを中止することができます。
- 9) プロクタリング終了後、プロクターがプロクタリング修了報告書を学会事務局に提出し、教育委員会の審査で承認されるまで単独施行はできませんので、それまで治療の予定をしないようにお願いします。

プロクタリングに関してご不明な点は学会事務局までご連絡ください。

JCIC-CVIT 教育委員会